

大隅半島における希少な トンボの分布調査

南九州トンボ研究会
代表 松比良 邦彦

1. 活動経過

分布調査活動の経過は以下の通りであるが調査回数51回、参加人数11人であった。

| 調査年 | 調査月 | 調査日 | 調査地 | 調査者 |
|-------|-------|------------|-----------------|--------------|
| 1995年 | 3月 | 25日 | 鹿屋市 | 今村久雄 |
| | | 31日 | 高山町 | 今村久雄・浩継 |
| | 4月 | 1日 | 鹿屋市 | 今村久雄 |
| | | 2日 | 大根占 | 今村久雄・浩継 |
| | | 8日 | 曾於郡財部町 | 松比良 |
| | | 10日 | 田代町 | 〃 |
| | 5月 | 30日 | 高山町 | 〃 |
| | | 6日 | 大根占, 田代 | 〃 |
| | | 11日 | 大根占町 | 今村久雄・浩継 |
| | 1995年 | 5月 | 3日 | 高山町 |
| 27日 | | | 〃 | 松比良 |
| 6月 | | | 鹿屋, 串良, 吾平, 高山 | 今村久雄・浩継 |
| | | 31日 | 高山 | 今村久雄 |
| | | 8日 | 吾平 | 〃 |
| | | 10日 | 田代, 佐多, 内之浦, 吾平 | 松比良 |
| 7月 | | 11日 | 高山 | 今村久雄 |
| | | 2日 | 鹿屋市 | 〃 |
| | | 4日 | 大根占町 | 〃 |
| | | 6日 | 鹿屋市 | 〃 |
| | | 8日 | 高山町 | 松比良, 今村久雄・浩継 |
| | 9日 | 根占, 佐多, 高山 | 松比良, 今村浩継 | |
| | 11日 | 高山町 | 今村久雄 | |
| 8月 | 18日 | 鹿屋市 | 〃 | |
| | 24日 | 串良町 | 〃 | |
| | 2日 | 鹿屋市 | 〃 | |

| 調 査 年 月 日 | 調 査 地 | 調 査 者 | |
|------------|--------------------|------------------------|---------|
| 1995年 | 8月 4日 田代町 | 今村久雄・浩継 | |
| | 高山, 内之浦 | 松比良・久川 | |
| | 5日 田代町 | 今村久雄・浩継 | |
| | 佐多町 | 松比良・久川 | |
| | 6日 佐多, 内之浦 | 松木, 松比良, 今村久雄・ 浩継ほか | |
| | | 九州虫の会との合宿 | |
| | 7日 内之浦, 高山 | 同 上 | |
| | 11日 高山町 | 今村久雄 | |
| | 16日 根占町 | 今村久雄・浩継 | |
| | 17日 根占, 串良 | 〃 | |
| | 18日 高山町 | 〃 | |
| | 20日 高山, 内之浦 | 松比良・江平 | |
| | 23日 吾平町 | 松比良 | |
| | 26日 吾平, 高山 | 今村久雄・浩継 | |
| | 9月 15日 内之浦町 | 今村久雄 | |
| | 17日 鹿屋市 | 今村久雄・浩継 | |
| | 25日 | 〃 | |
| | 27日 | 今村久雄 | |
| | 10月 8日 鹿屋, 佐多, 内之浦 | 今村久雄 | |
| | 1995年 | 10月 14日 高山, 内之浦 | 今村久雄・浩継 |
| 15日 鹿屋, 串良 | | 今村久雄 | |
| 21日 鹿屋市 | | 〃 | |
| 25日 | | 〃 | |
| 28日 高山町 | | 〃 | |
| 11月 26日 | | 〃 | |
| 1996年 | | 1月 15日 根占町 | 今村久雄・浩継 |
| | | 27日 曾根郡大崎町 | 今村久雄 |



九州虫の会との合同調査

2. 調査結果

今回、大隅半島において希少なトンボと位置づけたものは、ムカシトンボ、ムカシヤンマ、チビサナエ、タイワンシオカラトンボの4種とし、これらの分布を重点的に調査した。

以下に、その結果を示す。なお、1994年以前の未発表記録や、九州虫の会との合同調査により得られた記録についても一括して掲載した。

① ムカシトンボ *Epiophlebia superstes* Selys

高山町二股（1目撃：13. May. 1995：今村久雄、2幼虫採集：5. Jul. 1995：宮川*）

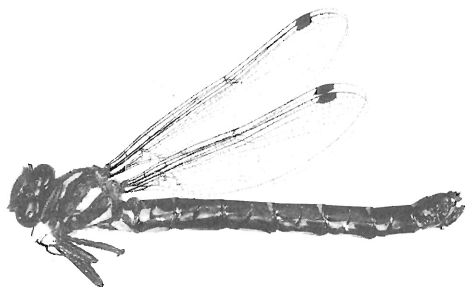
田代町盤山（1♀採集：10. Apr. 1995：松比良）

内之浦町一ツ谷川（4幼虫：6. Aug. 1995：松木・松比良・今村久雄・今村浩継*）

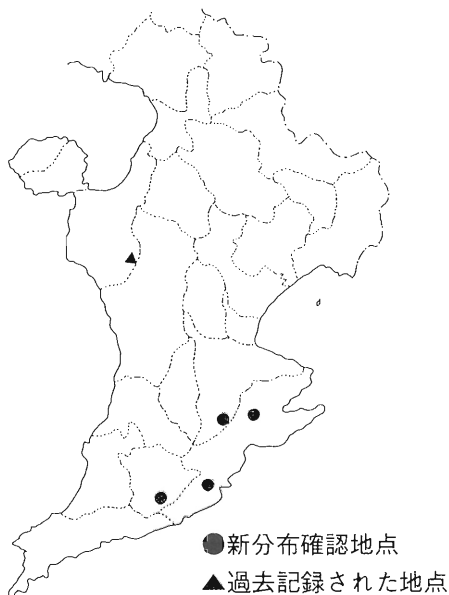
内之浦町小田川（1幼虫：23. May. 1993：今村浩継***、3幼虫：7. Aug. 1995：倉品・今村久雄・今村浩継*）

鹿児島県内では、出水市、霧島山、大口市、東郷町、溝辺町など県中央部や薩摩半島での記録が多く、大隅半島では、鹿屋市の高隈山が唯一の記録であったが、今回の調査で、大隅半島南武の高山町、田代町、内之浦町の4地点で生息を確認できた。このうち、田代町は南限記録となった。

図1 今回の調査で新たに生息が確認できた地点
ムカシトンボ



ムカシトンボ♀ 田代町盤山産 1995年4月10日



② ムカシヤンマ *Tanypteryx pryeri* Selys

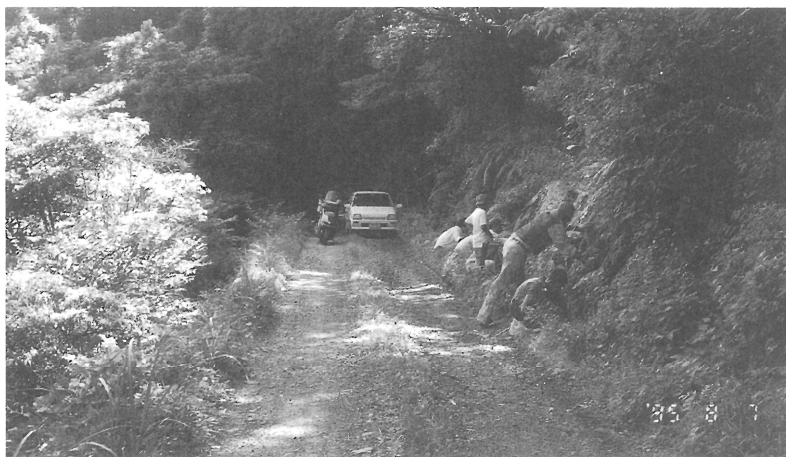
吾平町真戸原 (1 ♀ : 16. May. 1992 : 松比良)

内之浦町小田川 (1 幼虫 : 7. Aug. 1995 : 宮川*)

内之浦町大原 (1 幼虫 : 20. Aug. 1995 : 松比良・江平、1 幼虫 : 14. Oct. 1995 : 今村浩継)

県内における過去の記録は、鹿児島市、吉松町、鹿屋市、垂水市、内之浦町などであったが、今回の調査では、吾平町、内之浦町の3地点で生息を確認できた。このうち、吾平町真戸原と内之浦町大原は新産地となり、とくに内之浦町大原は南限記録となった。

図2 今回の調査で新たに生息が確認できた地点



ムカシヤンマの生息環境 (内之浦町小田川)

③ チビサナエ *Stylogomphus ryukyuanus ryukyuanus* Asahina

- 鹿屋市大籠柄川（1 幼虫：1. Apr. 1995：今村久雄）
高山町湯之谷（1 ♂：4. Aug. 1995：久川*）
大根占町町民の森（4 幼虫15羽化殻：5. Aug. 1995：松木・吉崎・藤田・甲守*）
根占町大竹野（2 羽化殻：5. Aug. 1995：松木*）
根占町下園～野尻野（1 幼虫：16. Aug. 1995：今村久雄）
吾平町神野溪谷源流（1 幼虫：26. Aug. 1995：今村久雄）
吾平町神野溪谷（1 幼虫：26. Aug. 1995：今村久雄）
吾平町永野牧川（2 幼虫採集：26. Aug. 1995：今村久雄）
田代町新田（1 羽化殻：6. Aug. 1995：宮川*）
内之浦町辺塚（1 羽化殻：10. Jun. 1995：今村浩継）
内之浦町小田川（4 幼虫：10. Jun. 1995：今村浩継、1 羽化殻：6. Jul. 1995：
宮川*、3 幼虫 5 羽化殻：7. Aug. 1995：松木・松比良・今村
久雄・今村浩継・宮川*）
内之浦町姫門（2 羽化殻：6. Jul. 1995：宮川*）
内之浦町大浦（2 幼虫 1 羽化殻：6. Aug. 1995：松木・松比良*）
内之浦町姫門の池（2 ♀：7. Aug. 1995：今村浩継*、1 ♂：20. Aug. 1995：江平）
内之浦町岸久保田川（1 幼虫 6 羽化殻：6. Aug. 1995：倉品・宮川・宮川哲*）
内之浦町一ツ谷川（2 幼虫 7 羽化殻：6. Aug. 1995：松木・松比良*）
佐多町辺塚猿坪（4 幼虫：10. Jun. 1995：松比良・今村久雄・今村浩継、1 ♂
目撃：5. Aug. 1995：松比良*）
佐多町打詰（2 幼虫：26. Jun. 1994：松比良、1 ♂ 2 幼虫 1 羽化殻：6. Aug.
1995：松木・今村久雄*）
佐多町辺塚洞ヶ原（2 ♂ 1 ♀：5. Aug. 1995：松比良・久川*、5 幼虫：6. Aug.
1995：吉崎・藤田・今村久雄*）

本種は、鹿児島県本土を北限とする種であり、1994年に宮崎県東臼杵町北川町で1頭記録された他は、本土においては、大隅半島南部からのみ知られていた。今回の調査では、主に幼虫採集により、その分布を明らかにしたが、鹿屋市、高山町、吾平町、田代町、大根占町、根占町、内之浦町、佐多町の18地点で生息を確認でき、比較的広い分布域であることが明らかとなった。そのうち、鹿屋市、高山町、吾平町、大根占町、根占町、内之浦町は新記録地である。とくに、鹿屋市大籠柄川は鹿児島県における北限記録となった。

図3 チビサナエの分布と幼虫生息環境



図4 今回の調査で新たに生息が確認できた地点

④ タイワンシオカラトンボ *Orthetrum glaucum* Brauer

内之浦町辺塚 (1 ♀ : 15. Sep. 1995 : 今村久雄)

佐多町杉山谷 (1 ♀ 1 ♂ : 26. Jun. 1994 : 松比良、1 ♀ 1 ♂ : 24. Aug. 1994 : 松比良**)

本種は、屋久島以南の南西諸島～東南アジア、および中国南部、香港、ニューギニアと広く分布している東洋系のトンボであり、これまで日本本土における採集記録はまったくなかったが、1994年に佐多町で記録され、北限記録となった。今回の調査により、新たに内之浦町で採集された。しかし、幼虫の採集記録はなく、土着を裏付けるには、さらに調査が必要と思われた。

* 九州虫の会誌 (1995) 第15号 pp13-15 九州虫の会熊本に掲載済み。

** Aeschna (1996) No31、トンボ研究会 大阪に掲載予定。

*** SATSUMA (1995)、鹿児島昆虫同好会に報告済

図5 タイワンシオカラトンボの分布図
(本調査以前)

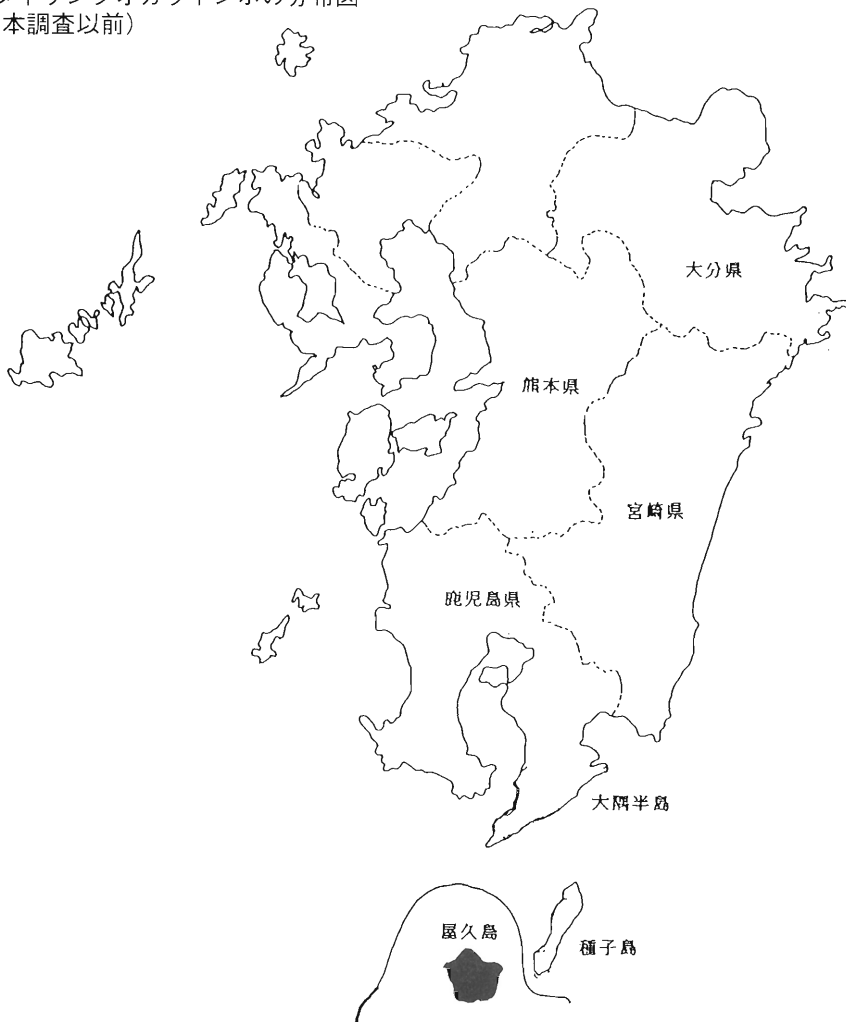
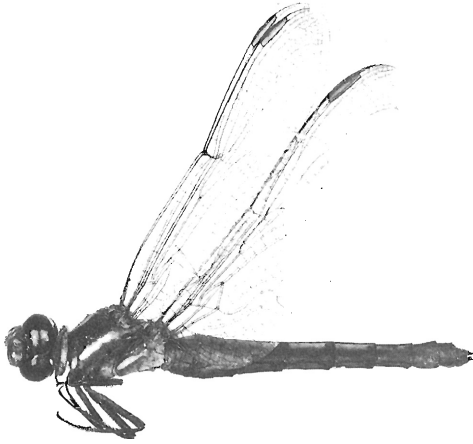
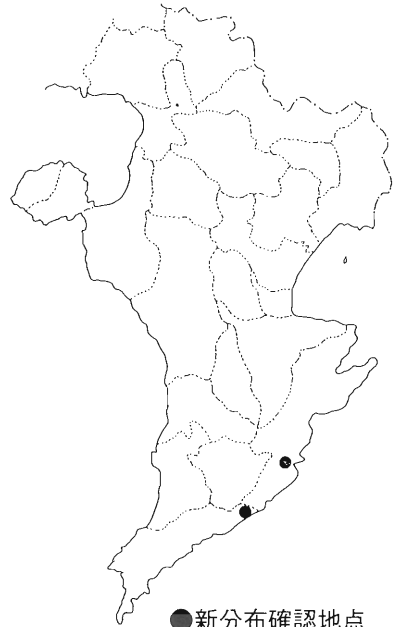


図6 今回の調査で新たに生息が確認できた地点
台湾シオカラトンボ



台湾シオカラトンボ♀ 佐多町杉山谷産



●新分布確認地点

▲過去記録された地点

3. 調査期間中に記録できたその他のトンボ類

調査対象としたトンボ以外に以下の69種を記録できた。

- 1) コフキヒメイトトンボ *Agriocnemis femina oryzae* Lieftinck
- 2) ホソミイトトンボ *Aciagrion migratum* Selys
- 3) キイトトンボ *Ceriagrion melanuerum* Selys
- 4) リュウキュウベニイトトンボ *Ceriagrion auranticum ryukyuanum* Asahina 大
- 5) アジアイトトンボ *Ischnura asiatica* Brauer
- 6) アオモンイトトンボ *Ischnura senegalensis* Rambur
- 7) クロイトトンボ *Cercion calamorum calamorum* Ris
- 8) オオイトトンボ *Cercion sieboldii* Selys
- 9) ムスジイトトンボ *Cercion sexlineatum* Selys
- 10) モノホシトンボ *Copera annulata* Selys
- 11) オオアオイトトンボ *Lestes temporalis* Selys
- 12) ホソミオツネントンボ *Indolestes peregrinus* Ris
- 13) キュウシュウトゲオトンボ *Rhipidolestes aculeatus yakusiensis* Asahina
- 14) ハグロトンボ *Clopteryx atrata* Selys
- 15) ミヤマカワトンボ *Calopteryx cornelia* Selys

- 16) ニシカワトンボ *Mnais pruinosa pruinosa* Selys
- 17) オオカワトンボ *Mnais pruinosa nawai* Yamamoto 大、南
- 18) ミヤマサナエ *Anisogomphus maacki* Selys
- 19) ヤマサナエ *Asiagomphus melaenops* Selys
- 20) キイロサナエ *Asiagomphus pryeri* Selys
- 21) オグマサナエ *Trigomphus ogumai* Asahina 大、南
- 22) ダビドサナエ *Davidius nanus* Selys
Davidius s p. 幼虫 クロサナエとの判別困難にて保留。
- 23) ヒメクロサナエ *Lanthus fujiacus* Fraser
- 24) オジロサナエ *Stylogomphus suzukii* Oguma
- 25) ヒメサナエ *Sinogomphus flavolimbatus* Oguma 大、南
- 26) アオサナエ *Nihonogomphus viridis* Oguma
- 27) オナガサナエ *Orychogomphus viridicostus* Oguma 大、南
- 28) コオニヤンマ *Sieboldius albadae* Selys
- 29) タイワンウチワヤンマ *Ictinogomphus pertinax* Selys
- 30) ウチワヤンマ *Ictinogomphus clavatus* Fabricius
- 31) オニヤンマ *Anotogaster sieboldii* Selys
- 32) ミナミヤンマ *Chlorogomphus brunneus costalis* Asahina
- 33) サラサヤンマ *Oligoaeschna pryeri* Martin 大
- 34) ミルンヤンマ *Planaeschna milnei* Selys
- 35) コシボソヤンマ *Boyeria maclaclani* Selys
- 36) カトリヤンマ *Gynacantha japonica* Bartenef
- 37) ヤブヤンマ *Polycanthagyna melanictera* Selys
- 38) マルタンヤンマ *Anaciaeschna martini* Selys
- 39) ギンヤンマ *Anax parthenope julius* Brauer
- 40) オオギンヤンマ *Anax guttatus* Burmeister
- 41) クロスジギンヤンマ *Anax nigrofasciatus* Oguma
- 42) タカネトンボ *Somatochlora uchidai* Forster
- 43) ハネビロエゾトンボ *Somatochlora clavata* Oguma
- 44) コヤマトンボ *Macromia amphigena amphigena* Selys
- 45) キイロヤマトンボ *Macromia daimoji* Okumura 大、南
- 46) オオヤマトンボ *Epophthalmia elegans* Brauer
- 47) ハラビロトンボ *Lyriothemis pachygastra* Selys
- 48) オオハラビロトンボ *Lyriothemis elegantissima* Selys
- 49) シオカラトンボ *Orthetrum albistylum speciosum* Uhler

- 50) シオヤトンボ *Orthetrum japonicum japonicum* Uhler
 - 51) オオシオカラトンボ *Orthetrum Triangulare melania* Selys
 - 52) コフキトンボ *Deielia phaon* Selys
 - 53) ショウジョウトンボ *Crocothemis servilia mariannae* Kiauta
 - 54) ミヤマアカネ *Sympetrum pedemontanum elatum* Selys
 - 55) タイリクアカネ *Sympetrum striolatum imitoides* Bartenef
 - 56) ナツアカネ *Sympetrum darwinianum* Selys
 - 57) アキアカネ *Sympetrum frequens* Selys
 - 58) マイコアカネ *Sympetrum kunkeli* Selys
 - 59) ヒメアカネ *Sympetrum parvulum* Bartenef
 - 60) マユタテアカネ *Sympetrum eroticum eroticum* Bartenef
 - 61) リスアカネ *Sympetrum risi risi* Bartenef
 - 62) ノシメトンボ *Sympetrum infuscatum* Selys
 - 63) コノシメトンボ *Sympetrum baccha matutinum* Ris
 - 64) ネキトンボ *Sympetrum speciosum speciosum* Oguma
 - 65) キトンボ *Sympetrum croceolum* Selys
 - 66) ハネビロトンボ *Tramea virginia* Ranibur
 - 67) コシアキトンボ *Pselothemos zonata* BuF meister
 - 68) チョウトンボ *Rhyothamis fuliginosa* Selys
 - 69) ウスバキトンボ *Pantala flavescens* Fabricius
- 南・・・・・・・・南限記録
 大・・・・・・・・大隅半島新記録

4. まとめ

今回、1995年の1年で大隅半島の稀少なトンボ（ムカシトンボ、ムカシヤンマ、チビサナエ、タイワンシオカラトンボの4種）の生息状況を明らかにした。

大隅半島の南部の山間地は比較的自然環境が残っており、昆虫類をはじめとした多くの生物の住処となっている。一方、交通網が整備されていないため、現在まで、調査が行き届かなかったことも事実である。しかし、伐採など乱開発がすぐそこまできており、これらの天然資源があるうちに現状の環境を評価しておくことは、重要と思われる。今後とも同様な調査を継続していく予定である。

最後に、公益信託タカラハーモニストファンドには、本調査に対し、多大な協力を頂いた。記して深謝する。